

三毛門南瓜

あるのどかな春の日のこと。

おやおや、どこからか歌が聞こゆる。

シート、みんな耳を澄ませちみ……。

緑の島におへそを出して

生まれた南瓜の赤ちゃんは

まるい顔して笑います

三毛門南瓜は可愛い南瓜

おお、おお、これはこれは可愛い南瓜ん赤ちゃん。名前は三

毛門南瓜ち言うそうな。

みんなは三毛門南瓜を知っちゃうかね。おじいちゃん、おば

あちゃんを知っちゃうよね。そうそう、三毛門駅ん前にあるあ

の南瓜じゃよ。

今日は、豊前の有名な三毛門南瓜んお話をしようかね。

どうやらそんな南瓜ん種は昔、遠い遠いポルトガルから豊後



をた通おつてこの豊前の三毛門の地ちにわたつて来たきそうな。

春、そんな種うを植うえちみると、緑色いろのち小いさな実みがついた。そしてそんな実は、お日様さまの光ひかりを浴あびて、ぐんぐん大おおきくなつていったきそうな。

空そらは青あお空あか お日様あか赤あかい

可愛すずい南こ瓜この 赤あかちゃんあかは

鈴すずなり小こなりで 歌うたいます

三毛門南あお瓜あかは 大おおきい南あか瓜あか

三毛門には大おおきな川かわがのうて水みづが少すくねえこつから、米こめを作つくるんには、たいそう苦く勞ろうしておつた。けれど、幸さいわいなこことに、こん土地とちは南あお瓜あか作りにはびつたりじゃったんじゃ。こん三毛門地ちで作つくられた南あお瓜あかは、そりゃあ甘あまうて、肉にくが厚あつうで、とくに白しろい粉こなをふいたんは、ほつぺたも落おちんばかりにおいしいい。村むらんもんはにたり、団だん子こ汁じにしたりして食たべていたきそうな。上うえから見みるとまるで菊きくの花はなんごたるこんおいしい南あお瓜あかは、いつからか三毛門南あお瓜あかと呼ばよばれるようになり、村むらから村むらへと広ひろまつていったきそうな。

さて、昭和三年しやうわさんねん、昭和天皇てんのうが即位そくいしたとき、なんとこの三毛門南あお瓜あかが天皇さまに献納けんのうさるることになつたんじゃ。人々ひとびとはたいそ



う喜び、力を合わせてぬかりのう準備を進めることにしたそう。献納南瓜を作る仕事にあたったのは、南瓜づくりの達人で村一番の人がらを買われた川口六郎さん。そして、村の畑で三毛門南瓜を精こん込めて作ったそう。みごとに育った南瓜の中から、直径七寸、高さ三寸五分の南瓜一五個を杉ん木箱に入れ、大事に京都まで送り出し、献納したんじや。

こん名譽のおかげで、三毛門南瓜ん名は、一段と有名になったんじや。

その後、戦争が激しくなり、食料がのうなつてくると、保存がでくるこん三毛門南瓜は重宝され、色々なものと物々交換さるるようになったんじや。こん辺りではどこでん、三毛門南瓜が、とこの間に並べられたり、日当たりのよいのきの下になわでくくつてつるされたりして、まるで品評会のようにやったと。こうして、食べ物少なえ戦中戦後をこん三毛門南瓜が支えてきたんじや。三毛門南瓜ん団子汁の味は、今でん多くの人々が忘るることができん、なつかしいなつかしいふるさとの味なんじや。

紅いトロボの 空とぶ頃は

きれいな南瓜の お嫁入り

紅いお顔に 白い粉

三毛門南瓜は おいしい南瓜

(亀田清美)



三毛門南瓜のモニュメント

三毛門南瓜音頭

作詞 馬場保美先生
作曲 渡辺虎雄先生

3 3 . 6 | 7 . 7 | 6 4 3 6 7 | 3 1 7 |
6 6 . 4 | 6 4 4 3 1 | 3 6 4 6 4 3 | 1 7 6 ||

= 短調 $\frac{3}{4}$

3 . 1 7 6 | 1 7 6 7 | 0 6 . 6 4 6 | 3 1 7 . |
ミドリノ ハタケニ オヘソオ ダシテ
2 . 2 3 4 | 6 4 6 3 1 | 3 . 3 1 7 | 6 . 0 |
ウマレタ カボチャノ アカ チャン ハ
7 7 . 6 | 7 . 2 3 2 | 3 3 4 6 | 3 6 7 |
マルイ カオシテ ワライ、マ スミク
6 . 4 | 6 . 4 3 1 . | 3 3 4 3 1 7 | 6 0 ||
カド カボチャ カワイカボチャ

三毛門小学校に保管されている楽譜より転載

